

東京消防庁本所防災館見学会・有意義に開催

もしもの時の防災行動力を楽しみながら体験・学習

日頃どうしても忘れがちな防災対策または防災知識。しかし、いざ地震・火災が発生したとき、被害を最小限に食い止めることができるかどうかは、防災対策と一人ひとりの防災知識に裏付けられた落ち着いた適切な行動にかかっています。そのためにもみなさんに防災に対する関心と知識を持っていただきたい。

10月5日(土)公明党文京総支部千石支部では墨田区横川にある東京消防庁本所防災館において防災に関する体験、見学会を開催いたしました。当日は「千石を明るくする会」の方を中心に総勢56人に参加いただくことができ、織田拓郎



都議会議員をはじめ、若井のりかず総支部副青年部長の案内で和やかに楽しく進められました。午後1時から開始された見学会ではまず、阪神淡路大震災を復元したものを立体映像で約20分間観賞いたしました。

和やかに楽しくそして真剣に！



自分に向かって割れた窓ガラスがビルから鉄骨が落ちてくる様子、そのあまりのリアルさに思わず体をのけぞらす事もしばしば。これが終わると3班に分かれ応急手当訓練、消火器訓練、煙の中の非難訓練、地震の体験訓練をそれぞれ20分間隔で実施していきました。特に、阪神淡路級の震度7の体験に当たっては、立つこともできず、動くこともできず床にしがみつくだけといった感があり呆然としてしまいました。インストラクターの方の懇切丁寧な指導と実際の体験を通じ、あらためて災害の恐ろしさ、予備知識の大切さ、災害に対する対策の必要性ということを実感いたしました。すべての行程を終了した後は若井のりかず党副青年部長から文京区の防災対策についての説明があり、織田都議会議員からのあいさつ、最後に参加者全員で記念撮影し、真剣に我が街の安全を考察し合うことができました。

お気軽にご相談下さい！



若井のりかず

総支部副青年部長/連絡先:3815-1577

印刷責任者 若井のりかず 文京区白山2丁目11番14号 セントラル小石川403